

# TOY BOX

2006.2  
vol.15

Hello!Project Fan Magazine



ファンサイトの定義って？

「普しの魅力を伝えたい」…そんな気持ち

ファンサイトはバンドラの箱

ファンサイト歴未知…聖域

読者投稿

運営上の見解

サイトがブログに飲み込まれる!?

ブログ、mixiはファンサイト？

ブログやmixiをファンサイトと呼べるか

ファンサイトの在り方

# ファンサイトの定義って？

written by NENO

インターネットが普及し、ファンサイトは私達ファンにとってとても身近な存在になりました。気になる芸能人や商品など、知りたい情報はネットで調べるという事が普通になつてきました今、ファンサイトはとても重要な役割を果たしています。

私は小学生の時に初めてパソコンを触りました。そこで初めて見たサイトは、当時大好きだった矢口真里さんのファンサイトです。矢口さんの魅力がいっぱいのサイトを見て、幼心に感動したのを覚えています。

今、私は菅谷梨沙子ちゃんのファンサイトを運営していますが、推しの活動を少しでも応援していきたかったのと、ファン同士のコミュニケーションの場を作りたかったという思いから開設しました。毎日推しについて語ったり、共通の話題で楽んでいます。大変良いファン同士の交流の場になっています♪ファンサイトはファン同士の架け橋にもなる、大切なページなのです。

それに、私の場合、女の子で同年代のヲタつて子は周りに誰もいなかつたのですが、今では掲示板で多くの女の子のお友達もできました。また、掲示板ではマナーも学びました。

幅広い年齢層が利用するネットの掲示板。それを意識した発言、ルール、交流。顔が見えないからこそ必要な思いやり。そんなことの全てが今の私につながっています。

しかし今、ファンサイトにも色々な種類があり、内容も目的もそれぞれで疑問に思うことがあります。ファンサイトの定義はなにかと言わると困ってしまうのですがw、私個人の意見としては、その芸能人の情報を少しでも具体的に紹介していくページがファンサイトと言えるのだと思います。

推しの応援といつてもたくさんの方方法がありますが、コンサートへ行くこともそうだし、DVDやCDを買つたりすることもそうです。

そしてファンサイトを運営するという事も一つの応援の形だと私は思うのです。



何がファンサイトで何がファンサイトでないのか、はつきりした境界線がないからこそ、常にその芸能人の情報が分かる、魅力が伝わる、そんなページであつてほしいと思います。ファンサイトは芸能人や私達ファンにとつて人気のバロメーターであり、ファン同士の交流の場でもあります。そして、推しの魅力を知つてもらえ、宣伝できる一番の方法です。

そして、やっぱり一番大切なのは「推しへの愛情」、そして「推しの魅力を伝えたいという気持ち」だと思っています。どのページも、一つ一つ推しへの応援の気持ちがあつて頑張つて運営されています。そういう気持ちや愛情つて、本当に素敵なものですよね♪そんな貴重なファンサイトという存在を大切に、ネットを楽しんでいきたいものです。

これからも、素敵なファンサイトがどんどん増えていくつてほしいなあと思います。私も負けないように、日々梨沙子ちゃんの魅力を伝えていけるように頑張ります。

こんな子供の戯言を読んで下さつて、どうもありがとうございました。少しでもファンサイトの存在の大切さが伝われば嬉しいです。  
ファンサイトの未来に乾杯！（えつ w



# 運営上の見解

written by Nonoryo

ここ数年で、ファンサイトの在り方は大きく変わった。

個人的には、存在意義そのものが以前から比較すると薄れつつあると感じている。ブログの浸透による掲示板の衰退、メッセンジャーの浸透によるチャットの衰退など、様々挙げる事が出来る。以前にも況して気軽に、全く知識が無い人でも、一応の形をしたサイトめいたものを持つ事が出来るようになつており、いとも容易く私を表現、発信する事が可能となつてゐる点は大きい。

昨今においては、逆にサイトがブログに飲み込まれるような現象も随所で見られる。トップページの大部を管理人のテキスト、更には日記で占めるような例である。このようなサイトは皆無に等しかつた。全てここ数年の変化だ。

今や超大所帯となつたハロー！プロジェクト。

このような時代の流れの中で、現在のファンサイトの存在意義は何にあるのか。それは、ファンの欲する情報の網羅と管理人のカリスマ性である。(他にも挙げられる点はあるが、今回はこの二点に留めておく。)

公式サイトが、自社所属タレントの全活動を追いきれていないのは誰もが知るところで、各種最新情報が網羅されるファンサイトは、以前にも況して高需要となつていて。また、やる気と独自性を兼ね備え、魅力のある管理人の運営するファンサイトへは、未だ多くのアクセスがある。

まず前提として、サイトは公開するも閉鎖するも見るも見ないも個々の自由である。従つて、もしサイトの在り方 자체に迷う管理人がいるとしたら、それは気にする事ではないと助言したい。(それより、無責任に放置しないことを第一に考えて欲しい。)ファンサイトの在り方といつた包括的な事項より、考えるはその一步手前のファンの在り方、そして自分も含めたファンの欲するコンテンツ（内容）は何かを考える事ではないか。

この点を考えた上でサイトを構築すれば、自然と運営方針に明確性が出来ると思う。

その上でサイトを開設した後、ビジターの需要に合っているか、いかないかは数字となって表れる。尚、「数字を気にしない」というのは、ある程度の実績を残したサイトの管理人が発する言葉であり、開設後暫くは、やはり気にした方が良い。

自分の日常を自分の視点で表現しながら、その反面、自身の存在は匿名性によって守られている。この点で、個性と公共性の同居を認めることが出来る。これが現在の一般的な形、更に受け止め易い表現をすれば、誰でもやっている、実は個性の無い形である。

このような時世において更なる個性を求めるには、自身の匿名性を少しだけ崩してやると良い。文章にすると凄まじい事のように見えるが、具体的にサイト運営で言えば、少しだけ、日常の自分をさらけ出してみたり、ネタになるような、自分で撮ったオリジナル写真を晒してみると、その程度の事で良い。

サイトの管理人がこのような行動を取ると、ビジターには意外と新鮮に映るのである。その際、節度、限度については十二分に考慮しなければならないのは言うまでもない。反面、番組や雑誌をキヤップチャーして「可愛い！」などと言うだけの日記は、最早（サイト管理人としての）日記足り得ないことも付け加えておく。

自分がファンであるメンバーの魅力を広める点で効果も期待出来、必要性は見出せるのだが、年がら年中これに終始するはどうしようもない。

サイトのテキストコンテンツにおいて、軽快でおしゃべりのようなりズムを持つ「ブログ」の中に、本文のような、表現主体の曖昧さが無いオールオリジナルの「テキスト」をたまに入れてみるのも、ビジターを飽きさせないという意味で効果的である。

皆さん初めまして。TOY BOXの愛読者、Mossari21と申します。

僕は文章を書くのはあまり得意ではないので、下手な文ですが僕の主張をどうぞお読みください。

では本題に入ります。最近はブログやmixiが大流行しています。そこで、ブログ、mixiをファンサイトと呼べるのかについて、僕なりに考えたことを主張します。

### ■「ブログをファンサイトと呼べるか

僕はファンサイトと呼べると思います。

多くのファンサイトのトップページには日記があるように、十分に日記はメインコンテンツだと言えるでしょう。日記というメインコンテンツをもつて、このブログは十分にファンサイトと呼べると思います。

ブログの最大の武器は更新しやすくホームページの知識がない人でも手軽にページが作れる所にあります。この手軽さが、今までサイトを持っていなかった人が情報発信するきっかけになつたことでしょう。

より多くの人が発信源となり、情報がより出回るようになれば、少なくともファンの増加に貢献すると思います。

お手軽サイトとも言えるブログのファンサイトがこれからも増えていくを願っています。

### ■「mixiをファンサイトに呼べるか

僕はファンサイトとは呼べないと思います。

唐突ですが、サイトを運営している方にお聞きします。あなたのサイトのポリシーは何ですか？

僕は小さいながらも田中れいな応援サイトを運営しています。もっと多くの人に田中れいなを知つてもらいたい、田中れいなの知名度を上げたい一心で運営しています。

しかしながらmixiは、普通のファンサイトと違つてアカウントを持っている人に閲覧者が限られます。ですから、ファン同士の交流は進むかもしれません、新たなファンを増やすという点では疑問符が付きます。

また、mixiは18歳未満の人の利用はできません。いわゆる18禁です。ということは、18歳未満のファンは無条件に排除されます。

モーニング娘。の一部、Berryz工房、℃-ute同じ年代のファンは18歳未満ですので閲覧することができません。

メンバーと同年代のファンをないがしろにして、これからもハロプロが発展していくとは到底思えませんし、この年代の人でもファンであることに違いはありません。排除する意味はあるのでしょうか？僕はないと思います。

年齢制限のあるmixiは若いファンをないがしろにし閉鎖的であるので、僕はファンサイトと呼べないと思います。

以上、ブログ、mixiをファンサイトと呼べるかについての主張でした。

最後まで読んで頂いた方ありがとうございました。



ついに会員数300万人を突破したmixi。今後の伸び率にも大注目。

# パンドラの箱

written by ランド

皆さん初めましてこんにちわ。私はファンサイトを運営した経験は全くと言つて良いほどありません。ですが、その代わりにたくさんのサイトに立ち寄つてはカキコみなどをしております。

そのきっかけというきっかけはありませんが、数年前からたくさん検索、リンク上から掲示板を見てたりもしました。個人的には文章を書く事、読む事は嫌いではなく、寧ろ逆なんですね。それで興味本位という気持ちもあり、初めてパソコンを購入した日などは夜、休日なら深夜まで見ていました。すると、たくさんのジャンルで題名を書く掲示板などもあり、それを見ているうちに絶句しました。

昔はやはり中傷的な文章を書き殴りする掲示板も多く、簡単に見つける事が出来るほど多數あつたので、当時の私は売り言葉に買い言葉をしていましたね。ですが、その掲示板は閉鎖される事もなく、ただ悪化するだけ。初代のパソコンは途中壊れてしまつたので、2代目を購入した時はもう見回る事をしなくなりました。

それからはファンサイトを転々と立ち寄り、チャットという交流の場でお話をしたりとしていたんですけど、「荒らし」というそのままの人たちによつてどんどんと閉鎖していくファンサイト様を見てきました。それからまた2代目のパソコンが壊れ、ネットカフェなどで継続を図つていたのですが、そこであるサイト様にへと出会いました。

メディアでも「ハローーモーニング」がただ一つ深夜に放送され、お世話になつてゐたサイト様も閉鎖されてしまい、転々とまた立ち寄つていて頃、そのサイト様は現れました。特別にビビッと来たわけでもなく、TOPページがなんだか個性的で、なんだか近寄りやすいサイト様だつたんですね。掲示板を見ていくと、たくさんのスレなどが置かれ、その中で立ち寄つた方の意見や感想など、見てきた中でも変わりがあるといえれば無かつたんですね。ですが、どんどん見に行くうちにちゃんととした意見などが飛び交い、「荒らし」の様な意見があればカキコむ方全員で対処しながらか凄く「信頼」や「温かみ」があつたのです。そこから、私はたくさん情報をお教えて頂きました。

私はカキコむ事にも意味があると信じて立ち寄つてはカキコんではいますが、やはり自分自身、時々このままカキコんでいて良いだろうかと考えてしまいます。カキコむ事で興味を沸かれる方も居るとは思いますが、やはりファンサイトとは、一個のパンドラの箱なのかもしれません。

ファンサイトの在り方…それはカキコむ事しか出来ない私としては未知です。それでも、推しメンの善さを広めようと運営なさるサイト様には、これまでも変わらず、立ち寄らせて頂きたいと思います。



Hello! Project -Official Site-

公式情報を楽しみに待っている方は多いですね！

意見や感想などを聞き、徐々にサイト様の印象が代わつて行きました。になつて思つた事は、やはりファンサイトという場所は、個人的には聖域なんですね。その運営されるサイト様の推す方に対するの管理人様からの視点から、カキコむ方の視点。他にもサイトにさまざまコンテンツを含ませ、立ち寄つている方の目を惹かせる。日記なども時には真面目に、時にはおちゃらけに、立ち寄る方が安心してカキコめられる様な内容。そう言つたファンサイトが増えると良いのですが、やはりカキコむ方にもそれは重要とされるんですね。運営される方も個人的な事情で閉鎖される事もありますが、やはりカキコむ方によつてもそれは左右されます。



**投稿お待ちしています！**

## ■ 記事募集のご案内 ■

現在、TOY BOX では、記事を書いてくれる方を募集しています。参加条件は無し。どなたでも歓迎いたします。

今回のテーマが好評だったようで、わずか数週間でたくさんの記事の投稿がありました。

今回載せられなかつた方、ごめんなさい！ということで‥

そこで次号のテーマも、今回と同じ‥‥

### ファンサイトの在り方について

今回の記事を読んでみて「自分はこう思う！」という主張のある方。ファンサイトを作りたいけど作れないと悩んでいる方。どんどん投稿してきてください！

もちろん従来通り、自分でテーマを設定して下さっても結構です。文字数は1ページで約1000文字で、何ページでもOKです。画像の数やサイズによって変動しますので、あくまでも目安としてお考えください。

文章はTOY BOX サイト内 “mail” ページのフォームから投稿してください。また、縦書き・横書きの希望がございましたら併せてフォームへ記入してください。都合上やむを得ない場合を除き、出来る限りの対応をいたします。

## ■編集後記■

ハロプロファンの皆様、こんにちは！ やすちんです。

今回は上にも書いた通りすごい数の投稿がありました。ありがとうございます！  
おかげで編集部から記事を提供せずに創刊することができました（笑）  
次号も是非、たくさん投稿してくださいね！

「ファンサイトについて」というのは、私にとってかなり興味深いテーマでした。  
ファンサイトを作ることって誰でも一度は憧れると思います。  
楽しく作って、楽しく運営できたら最高ですよね。  
ハロプロ関係のファンサイトがたくさんできますように！

次回は、3月中旬ごろの創刊を予定しています。お楽しみに☆

■ by Yasuchin ■



## 執筆者紹介

flight	亀井絵里推し	「えりりんどっこむ」を運営 表紙デザイン担当
るる	菅谷梨沙子推し	「PurePear」を運営
Nonoryo	辻 希美推し	「MMF・辻加護」を運営
Mossari21	田中れいな推し	「Reina Express」を運営
ランド	亀井絵里推し	
やすちん	藤本美貴推し	編集・デザイン担当